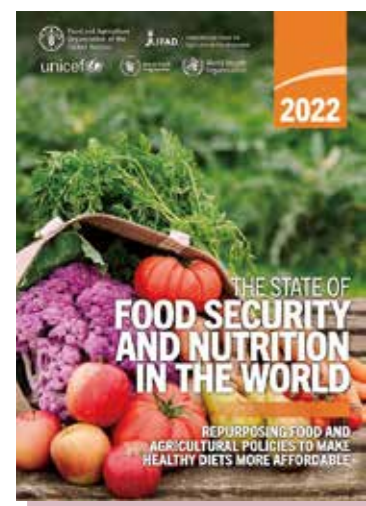


**飢餓人口8億2,800万人…**  
 ※前年より4,600万人増

**中、重度の食料不足人口23億人…**  
 ※コロナ拡大前より3億5,000万人増加

**5歳未満の子どもの栄養失調…**  
 ※推定4,500万人が最悪レベル



**国**連は7月6日「世界の食料安全保障と栄養の現状 2022年版」(注)を発表し、世界の飢餓人口が2020年から4,600万人増え、2021年に8億2,800万人になったと報告しました。また中程度から重度の食料不足人口は、世界人口の約3割にあたる23億人となり、新型コロナ拡大前より3億5,000万人増加しました。特に5歳未満の子どものうち、推定4,500万人が栄養失調の最悪レベル「消耗症」(死亡リスクが最大12倍)に相当し、また1億4,900万人は食生活で必要な栄養素が慢性的に不足して、成長や発達が阻害されているとしています。しかしその一方で、3,900万人は太りすぎであるとも指摘しています。

**SDGs 指標「飢餓をゼロに」の達成が困難に**

今後の予測としては、仮に世界経済が回復しても2030年には、なお6億7,000万人(世界人口の8%)が飢餓に直面しているだろうと、これは「2030年までに世界の飢餓をゼロに」と、SDGs(持続可能な17の開発目標)で定めた、2015年時点とほぼ変わらないの飢餓人口になっています。加えて2022年2月に始まったウクライナ戦争で、国際的なサプライチェーンが混乱し、穀物、肥料、エネルギー価格が押し上げられ、世界的な食料不安、栄養不良、不平等がさらに拡大するとしています。

報告書の発表に合わせ、WFPのビーズリー事務局長は、新型コロナ拡大により飢餓人口が急増した前年に続き、2022年はウクライナ戦争により飢餓人口がさらに増加するため「迫る危機を回避するためには、すぐに行動する必要がある」と述べています。

注：同報告書は国連食糧農業機関(FAO)、国際農業開発基金(IFAD)、国連児童基金(UNICEF)、国連世界食糧計画(WFP)、世界保健機関(WHO)が共同で作成し、毎年7月に発表されています。日本語による報告はユニセフHPを参照。

**2022 世界食料デー**  
**Small Action Everyday!**  
 ~小さなことから一歩ずつ~



**私たちがアクションを起こしましょう**

あなたは世界の飢餓に困む人のために、どんな「アクション」を起こしますか。立ち止まって私たちの生活を見直す時、私たちがどれ程世界と繋がり、恩恵を受けているかを知ることができるでしょう。小さなことでも一歩ずつ、「アクション」を起こしましょう! 買いすぎ、作りすぎで食べ物を腐らせたり捨てたりすることはありませんか。

- ぜひお近くで開かれる世界食料デー大会に参加してみてください。右ページの各地での大会日程をご参照ください。最新情報は、9月以降ウェブサイトでお知らせいたします。
- ハンガーゼロのホームページや、YouTubeチャンネル「ハンガーゼロ」をご覧ください。
- 毎日の食生活を見直して「食品ロス」がないか考えてみませんか。
- お友だちに呼びかけて、どんなスタイルでも構いません「世界食料デーイベント」を開いてみませんか。



2021年沖縄南部大会

2022年大会	開催日・期間
札幌	10月中/7日㊟WFD講演会
仙台	10月15日㊟
千葉北	10月29日㊟
Tokyo WFD+Gospel	調整中
滋賀	10月8日㊟
京都	10月30日㊟
南大阪	9月23日㊟
@キリタン	10月20日㊟
東大阪	10月19日㊟
八尾	調整中
芦屋	10月16日㊟
広島	10月16日㊟
柳井	10月22日㊟
須崎	調整中
鹿児島	10月25日㊟
沖縄南部	10月10日㊟
沖縄北部	10月22日㊟
沖縄宮古	10月23日㊟
沖縄中部	10月30日㊟
高校生による世界食料デープレゼンテーション大会	調整中 ※高校限定ウェブ配信
小規模会場・対象者限定などの形で実施予定	
浜松、宝塚、奈良北、八尾河南、奈良南、関門	
開催検討中の大会(2会場)	
横浜、名古屋	
上記は2022年7月23日現在のものです。今後、変更や追加もあります。なおコロナ感染の拡大で中止や運営方法が変わる場合もあります。	

**ハンガーゼロ親善大使に**  
**白鞘慧海さん就任**  
 (しらすや・えみ)



このほどハンガーゼロの親善大使として新たにゴスペルシンガーの白鞘慧海さんが就任しました。白鞘さんは、これまでもハンガーゼロの支援者として、世界食料デーTokyoWFD+Gospelの開催をしていただくなど積極的な協力を続けてくださっていました。今後、親善大使として主に音楽活動を通じて、一層ハンガーゼロの支援の輪を広げてくださることを期待しています。

**2022WFDテーマソングを制作中**

現在、白鞘さんは今年の世界食料デーテーマソングを制作してくださっています。提供される曲は制作する食料デー動画や食料デー大会会場などで使わせていただきます。なお、本紙で就任式の模様や白鞘親善大使のインタビュー記事を掲載する予定です。

**■ 白鞘慧海 プロフィール**

ゴスペルシンガー&ソングライター、上野芝キリスト教会協力牧師、昭和音楽大学講師  
 Everlasting LOVE Project (えばらぶ)代表  
 早稲田大学在学中より、シンガー&ソングライターとして活動を始め、1995年 ビクターエンタテインメントよりメジャーデビュー。NHK『みんなのうた』やCM、TVなどで楽曲オンエア。2002年 東京でクリスチャンとなる。所属教会にて、副牧師として仕えた後、2014年、ゴスペルシンガーとして音楽活動を開始。音楽を通して、神様の愛と希望、癒やしや励ましを人々に伝えていくことをビジョンとし、各地でコンサート活動を始める。2016年から、昭和音楽大学で教鞭を執り、次世代の音楽教育にも携わる。2017年CD「BLOSSOM」発売。2018年、夫の谷口卓嗣師と「Emi & Takuji Music Ministry」スタート。現在、チャペルコンサート、ゴスペルコンサート、病院や少年院、福祉施設訪問などを行い、各地に賛美を届けている。毎年、世界食料デーに合わせて「World Food Day+Gospel」を開催している。www.emishira.com